

Ⅲ 花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)の進捗状況

1. 花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)の概要

花巻市役所地球温暖化対策実行計画(第3期)は、地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、「温対法」という。)に基づき、市の事務・事業の実施により排出する温室効果ガスなどの現状を把握するとともに、温室効果ガスの削減目標の達成を目指して職員一人ひとりが率先して行動し、地域の模範となって市全体の地球温暖化対策の推進を図ることを目的に、令和3年3月に策定しました。

計画期間	令和3(2021)年度から令和12(2030)年度(10年間) (5年目の令和7年度に計画の見直しを行います)
基準年度	平成25(2013)年度
計画対象	(1) 温室効果ガスの種類 温対法第2条第3項に掲げる7種類のうち、二酸化炭素(CO ₂)、メタン(CH ₄)、一酸化二窒素(N ₂ O)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)の4種類 (2) 事務・事業の範囲 地方自治法に定められたすべての行政事務で、市の職員が直接実施する事務・事業 (3) 組織・施設の範囲 市の事務・事業を行う全ての組織や施設
計画目標	(1) 温室効果ガスの総排出量に関する目標 温室効果ガスの総排出量※を令和12年度までに平成25年度比で40%削減
取り組み内容	(1) 市役所及び対象施設全体での長期的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ LED照明・省エネ設備の導入 ・ 施設の省エネ化 ・ 再生可能エネルギーの導入 ・ 温室効果ガス排出係数の小さい電気事業者からの電力調達 ・ 低公害車の導入 (2) 各課・機関内での日々の取組

※ 温室効果ガスの排出量は、「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」第3条第1項に基づき、1年間の活動量(燃料使用量や走行距離など、温室効果ガス排出の原因となる活動にかかわる数値)に排出係数(活動量の、単位あたりの温室効果ガス排出量)を乗じて算定しています。

2. 計画目標に対する実績

(1) 令和4年度(2022)の温室効果ガス排出実績

令和4年度(2022)の温室効果ガス総排出量は11,401,695kg-CO₂となり、基準年度である平成25年度(2013)に比べ36.4%減少しました。前年度の令和3年度(2021)と比べても13.1%減少しています(表1)。

減少の要因として、メタン及び一酸化二窒素は農業集落排水の供用人口が減少したことなどがあげられます。二酸化炭素については、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための利用制限を緩和したことにより燃料使用量が増えた施設があったものの、一方で、二酸化炭素排出係数の高い灯油や重油使用の暖房機器から排出係数の低い電気使用の暖房機器への更新、各施設において節電に努めたことにより、前年使用量から減少となったものです。また、令和4年3月にリース事業によって市が設置している街路灯を全てLED化したことも影響しています。

公共施設での電気使用量は前年度比1.8%の削減に努めており(表2)、電気使用により排出される二酸化炭素量については前年度比16.6%減少しています(表3)。これは、市内公共施設50施設において令和4年度の電力調達の契約の際に温室効果ガス排出係数※の値が小さい電気事業者との契約に変更したことによるものです。電気の排出係数は他の燃料の排出係数よりも小さく、他の燃料を使用する設備から電気を使用する設備に更新することも二酸化炭素排出量削減のための取り組みと言えるため、施設更新等により電気使用量が増加した場合であっても一概に二酸化炭素の削減ができていないとは言えませんが、二酸化炭素排出量削減のためより少ない電気で使用できる設備への更新や、節電等の呼びかけを続け電気使用量の削減に努めていきます。

※電気の排出係数は電力事業者及び年によって変動し、電力事業者の販売電力量に対して、二酸化炭素排出量の多い火力発電の割合が小さくなるほど、排出係数は小さくなります。

表1 温室効果ガス排出量の推移

(単位:kg-CO₂)

温室効果ガス	基準年度 H25(2013)	R3 (2021)	R4 (2022)			
				構成比	基準年 増減率	前年 増減率
二酸化炭素(CO ₂)	17,129,859	12,479,261	10,767,263	94.44%	-37.1%	-13.7%
メタン(CH ₄)	389,250	276,725	274,450	2.41%	-29.5%	-0.8%
一酸化二窒素(N ₂ O)	395,446	353,428	352,832	3.09%	-10.8%	-0.2%
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	7,150	7,150	7,150	0.06%	0.0%	0.0%
総排出量	17,921,705	13,116,564	11,401,695	100.00%	-36.4%	-13.1%

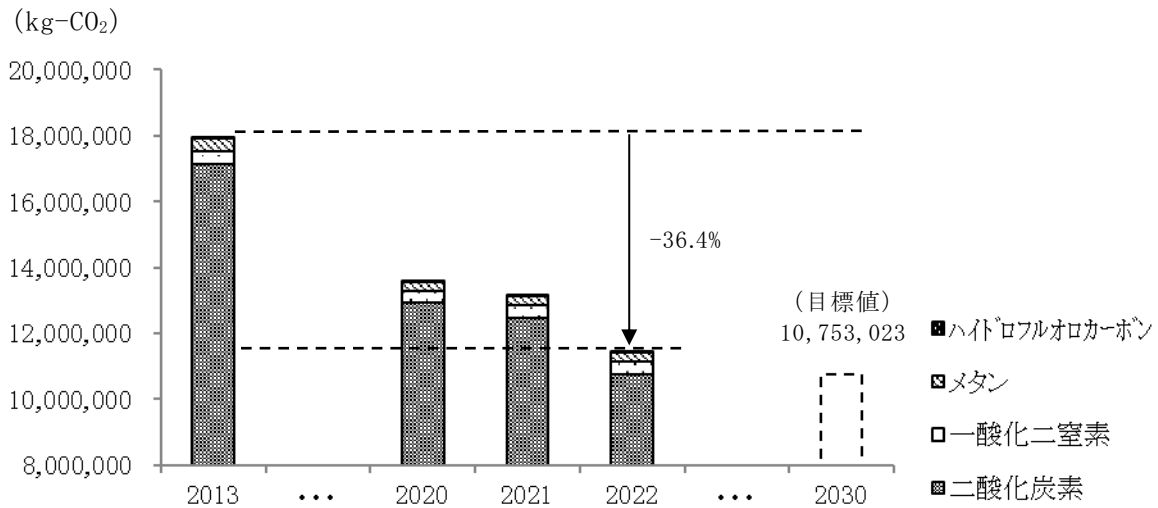


表2 燃料ごとの使用量

燃料		基準年 H25(2013)	R3 (2021)	R4 (2022)	R4	
					基準年 増減率	前年 増減率
公用車	ガソリン(ℓ)	132,135.4	98,159.0	98,167.4	-25.7%	0.0%
	軽油(ℓ)	145,607.9	135,065.3	134,816.2	-7.4%	-0.2%
	LPG(m ³)	1,275.6	128.9	257.0	-79.9%	99.4%
公共施設 (指定管理 施設含む)	ガソリン(ℓ)	5,378.5	11,179.6	11,842.3	120.2%	5.9%
	灯油(ℓ)	758,507.6	755,622.5	744,448.5	-1.9%	-1.5%
	軽油(ℓ)	10,391.4	16,426.1	12,293.0	18.3%	-25.2%
	重油(ℓ)	594,350.0	451,988.0	484,840.0	-18.4%	7.3%
	LPG(m ³)	37,541.2	34,240.9	34,324.9	-8.6%	0.2%
	都市ガス(m ³)	20,700.0	20,157.0	21,561.0	4.2%	7.0%
	電気(kWh)	18,060,541.5	19,448,145.7	19,089,105.6	5.7%	-1.8%
定額制	電気(kWh)	2,139,454.8	2,036,184.5	901,451.0	-57.9%	-55.7%

表3 使用した燃料ごとの二酸化炭素排出量

(単位: kg-CO₂)

燃料		基準年 H25(2013)	R3 (2021)	R4 (2022)	R4		
					基準年 増減率	前年 増減率	構成比
公用車	ガソリン(車)	306,551	227,726	227,746	-25.7%	0.0%	2.1%
	軽油(車)	375,666	348,465	347,824	-7.4%	-0.2%	3.2%
	LPG(車)	2,032	205	409	-79.9%	99.5%	0.0%
公共施設 (指定管理 施設含む)	ガソリン	12,475	25,932	27,467	120.2%	5.9%	0.3%
	灯油	1,888,675	1,881,489	1,853,668	-1.9%	-1.5%	17.2%
	軽油	26,806	42,376	31,712	18.3%	-25.2%	0.3%
	重油	1,610,688	1,224,886	1,313,916	-18.4%	7.3%	12.2%
	LPG	245,661	223,926	224,478	-8.6%	0.2%	2.1%
	都市ガス	77,623	45,149	48,292	-37.8%	7.0%	0.4%
	電気	11,300,010	7,489,884	6,244,632	-44.7%	-16.6%	58.0%
定額制	電気(定額制)	1,283,672	969,223	447,119	-65.2%	-53.9%	4.2%
合計		17,129,859	12,479,261	10,767,263	-37.1%	-13.7%	100.0%